



つがる市議会だより

12月定例会

- 定例会の概要…………… 1
- 議会改革レポート…………… 2
- 一般質問…………… 3～6
- 予算特別委員会の審査…………… 6～7
- 常任委員会の審査…………… 7～8
- 要望活動レポート…………… 9
- 行政視察報告…………… 10～11
- クールつがる…………… 12
- 議会の動き…………… 12

▶ 第38号

平成26年 2月

発行：つがる市議会

編集：議会だより編集委員会



雪におおわれたリンゴ園。厳しい寒さの中、1月中旬には早くも剪定作業が始まっています。

このひと手間が、たわわな実りを約束します。

主 な 可 決 議 案 (平成25年度つがる市一般会計・特別会計補正予算)

- 平成25年度一般会計補正予算額……………12億6,002万1千円
補正後の予算額…………… 244億2,874万8千円
- ・地域の元気臨時基金(1年限定)……………6億5,525万8千円
- ・財産管理費(患者送迎等に使用の多目的バス購入)…1,574万2千円
- ・商工費(誘致企業が入る旧高等技術専門校つがる校舎改修工事費)…6,315万8千円
- 平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算額…………… 703万6千円
補正後の予算額……………6億4,155万6千円
- 平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算額……………41万4千円
補正後の予算額…………… 6億4,629万6千円
- 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算額……………6,711万5千円
補正後の予算額……………55億 772万9千円
- 平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算額……………399万円
補正後の予算額…………… 6億7,973万円
- 平成25年度介護保険特別会計補正予算額…………… 221万4千円
補正後の予算額……………42億4,604万2千円

12月定例会の概要

平成25年第4回定例会は、12月2日から17日まで、16日間の会期で開催されました。

今定例会では、つがる市地域の元気臨時基金条例案等、市長から提出された議案16件を原案通り可決。また、専決処分された補正予算(台風18号による災害復旧経費、支援対策費等の予算措置)の報告を承認しました。一般質問には、7名が登壇、市政の課題について当局の考えをいただきました。

親しみやすい議会広報紙を目指して

つがる市議会だよりをご愛読いただきましてありがとうございます。
このたび、新コーナー「クールつがる」（裏表紙）はじめ、掲載内容と表記方法の一部を改善いたしました。今後もより読みやすい議会広報づくりに努めて参りますので、市民の皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

つがる市議会議長 山 本 清 秋

議会改革 レポート

議会改革検討特別委員会の会議結果と視察研修の概要を報告します。

第7回会議結果（平成25年10月22日開催）

1 行政視察について以下のとおり決定した。

- ・日 程 平成25年10月28日
- ・視察場所 北海道白老町議会（議会改革先進地・姉妹都市）
- ・視察内容 白老町議会における以下の改革の取り組みについて
 - ①通年議会導入の経緯と成果 ②住民に開かれた議会、親しまれる議会への具体的施策
 - ③議員の政策能力向上のための取り組み など

第8回会議結果（平成25年11月26日開催）

1 議会運営に関する次の事項について、導入に向けた具体的な協議・検討を行うこととした。

- 1) 一括質問・一問一答方式の選択制
- 2) 本会議のインターネット中継の導入
- 3) 会議録のホームページ公開

2 施策に対するチェック機能の強化に関し次の事項について検討することとした。

- 1) 主要事業の進捗状況及び予算の執行状況についての報告
- 2) 当初予算審議のため執行機関において新たに事業概要書を作成し議案に添付

行政視察報告 視察先：北海道白老町（平成25年10月28日訪問）

白老町議会における活性化の取り組み

- ・通年議会の実現
- ・議員定数の削減
- ・移動常任委員会
- ・本会議のインターネット中継
- ・傍聴手続きの簡素化 など



白老町議会より説明を受ける委員

成果のまとめ

白老町議会においては、議会の政策形成能力の確立と住民に親しまれる開かれた議会を改革の柱として取り組んでいる。

当市においては、平成24年9月に議会改革検討特別委員会を設置したばかりであるが、今後議会と住民との有効な関係を保つ仕組みを作り上げることがを、努力目標としてとらえるのではなく着実に推進できるルールとして制度設計をすることが必要であると感じた。

主な可決議案

議案第93号

つがる市火災予防条例の一部を改正する条例

（法令の一部改正に伴い提案されたもの）

議案第95号

つがる市子ども・子育て会議条例

（つがる市子ども・子育て会議を設置するため提案されたもの）

子ども・子育て会議の事業内容
Ⅱ子ども子育て支援事業計画
や子育て支援に関する施策の推進、保育施設等子育て支援に必要な事項についての調査・審議

議案第103号

財産取得の件

（向陽・瑞穂小学校に配置するパソコンを購入するため提案されたもの）

1 取得する財産

2 パソコン82台（各41台）

3 契約の相手方

有限会社 高重商店

取得価格

2,142万円

一般質問要旨 ここが聞きたい

* 今号より答弁者職名をカットしています *
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。

問

6次産業の成功には販路開拓や加工、販売施設の整備等、総合



答 1次、2次、3次産業が連携して農林水産物等の付加価値を高めることで新たな産業の創出に取り組む「食産業ネットワーク」を平成26年度に設立します。25年7月に広報で参加者を募集したところ、4個人、16法人の申し込みがありました。本年度は研修会や取組み意向調査を行います。今後、国、県の支援制度を活用し6次産業化への取り組みを支援していきます。

問

つがる市の6次産業化への取り組みの現状は。



成田 克子
芳政会

・農産物の6次産業化について
・国民健康保険証について

的なサポート体制の確立が不可欠と考える。つがる市独自の支援内容は。

答 来年度以降、仮称「つがる市地域資源活用特産品開発支援事業」として支援する構想を持っております。支援内容は、研究開発、商品化、販売力強化などです。商品完成時には県の販売戦略課を窓口にと合同で商品のPRを行うこととしています。

問

国民健康保険証をカード化し経費節減してはどうか。

答

保険証の有効期限は全国ほとんどの自治体が1年としています。理由は、健康保険組合などの被用者保険と市町村国民健康保険との資格移動が激しいことや国保税滞納者への短期証、資格証の交付など被保険者管理を適切に行うためとなっています。ご指摘のとおり、国保の経費については保険証更新のために毎年約300万円負担しております。今少し時間をいただき改善策の検討をしたいと思います。

問

減反廃止となった場合、つがる市への影響は。



長谷川 榮子
無所属

・農業問題について
・ブランド推進について

答

廃止後には米の過剰による米価の下落が予想され、当市にも甚大な影響が出ると思われます。これまでの直接交付金が5年後には廃止となり米の転作である飼料用米、備蓄米、米粉用米など、どのような組み合わせが農家に影響を与えないか検討し、また、国の機関と連絡をより密にしていきたいと思っています。

問

減反政策について市から詳しい説明がない。国の連絡を待つだけでなく県選出国會議員等を囲んで現状を訴える場を設けるべきでは。

答

減反廃止に関わる情報については、今月、農協や出荷業者をはじめ関係者が集まって国、県の職員を招き勉強会をするので、その後各農家へ説明したいと思っています。農業を基幹とする自治体として国や県、国會議員に要望するなど、当然行動しなければならぬと考えております。

問

面積で分けた補償金政策では小規模農家は生き残れない印象を持つがどうか。

答

当初報道された米の所得補償交付金における交付基準は見直される見とおしです。平成27年度から直接支払交付金及び収入減少影響緩和対策は、認定農家、集落営農、認定就農者に限定するため、これ以外の農家については、認定農家になるよう勧める等、対象となるよう助言していきたい考えです。

問

ごしよつがる農協に導入された高機能のメロン選果機は、つがるにしかた農協の組合員でも利用できるのか。

答

つがるにしかた農協の組合員も利用できます。従来の選果機の2倍の処理能力があり、にしかた農協すべてのメロン農家が利用を希望しても受け入れ可能です。

一般質問要旨 ここが聞きたい

※ 今号より答弁者職名をカットしています ※
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



松橋 勝利
無所属

- ・ 消防及び救急体制について
- ・ 車力地区一般廃棄物最終処分場について

問 消防広域化のその後は。

答 広域化の実現性がないことから消防本部内の再編に重点をおいて検討したいと考えております。再編検討委員会及び消防本部と市役所企画調整課においても、類似規模の消防本部の運用等を参考に再編計画を検討中です。

問 消防本部内の再編計画は早急に
出してもらいたい。

答 これまで類似団体の調査や人口減少を見込んだ検討等を行っており大筋で計画はできています。さらに市の消防行政の状況、全体的な経費の問題を考慮しながら今後の消防の配置をしていくべきと考え検討中であることから時間を要しています。

問 救急業務規程、事故等の場合に警察に連絡する規定はあるのか。

答 救急業務規程は制定されており、救急業務遂行中に警察機関

と連絡を取るよう規定されています。（傷病者の死亡が明らかである

時、または医師が死亡と診断したときは搬送せず警察へ通報すると規定）また、消防法でも定められている他、県警察本部、つがる警察署、つがる市消防本部の3機関における申し合わせも締結しています。

問 警察署への連絡漏れ防止策は。

答 通報記録を作り、漏れないよう徹底を図ります。さらに指令台のデータと通報記録簿の照合も定期的に行っていく考えです。

問 車力地区一般廃棄物最終処分場は使用期限前に満杯の恐れがある。その後の対応を早めに考えるべきではないか。

答 平成29年度まで利用可能と推察しておりますがそれ以前に過疎対策事業債を活用して再度延命化する計画で、これにより平成33年度まで稼働延長したいと考えております。



伊藤 良二
芳政会

- ・ 中核病院について
- ・ つがる市民診療所について
- ・ 公民館基本構想について
- ・ 木造農村環境改善センターについて 他

問 中核病院に関し次の3点を問う。
①医師の確保は。②診療科の体制は。③開院準備は順調か。

答 ①現在、医師は常勤・非常勤・研修医を合わせ51人となっております。②つがる総合病院開院時には西北中央病院の現在の19科に新たに歯科口腔外科を開設するとしています。このうち第3内科（内分泌科）、神経内科、脳神経外科、形成外科は、常勤医師の確保がなされており、鋭意働きかけを行っております。③平成25年11月末時点の工事進捗率は98%で12月10日の完成予定です。平成26年3月28日から31日までに移転作業を終え、4月1日開院予定です。

問 つがる市民診療所に関し次の3点を問う。①医師や技師の配置は。②送迎バスの体制は。③開院準備は整ったか。

答 ①医師は常勤2名と非常勤4名程度、常勤換算で3名以上を考えています。（現時点では計画人数）放射線・検査技師は2名体制にし

診療所でもある程度の検査をすることと患者に負担をかけないような体制を考えています。②バスは診療所開院後もこれまでどおり運行します。また、現行のバスの台数で午後の送迎も可能かどうか検討中です。診療所からつがる総合病院までのバスについては、既存の路線バスを活用することを基本とし広域連合が事業者と協議中です。③工事の進捗状況は予定どおりです。平成26年2月26日から28日まで引越越し3月3日から診療開始予定。3月2日午後には一般公開を考えています。

問 公民館基本構想に図書館併設の考えはあるのか。

答 構想案は公民館と図書館機能を併設した内容となっています。

問 木造農村環境改善センターの改修工期は。

答 平成26年2月20日までです。完成検査等の手続き後3月上旬には使用できるものと考えます。

一般質問要旨 ここが聞きたい

* 今号より答弁者職名をカットしています *
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



村上 秀徳
五和会

- ・ 少子化対策について
- ・ 民生安定事業について

問 出産する子どもが2人では人口増にならない。第3子以降の出産祝い金を復活してはどうか。

答 「つがる市出産祝い金条例」は乳幼児医療費制度に加え、対象を小・中学生まで拡大した「つがる市子ども医療費助成事業」実施に伴って、平成23年3月定例会で廃止が可決されたものです。若年世代にとって子どもを安心して生み、育てやすくする環境整備のため支援策を拡充していくことが重要であり、少子化対策としてよい方策を検討していきたいと考えております。

問 少子化対策包括交付金（県から交付）に添った当市の事業は。

答 3事業を実施しています。
①こんにちは赤ちゃん事業。（中学生対象。各中学校持ち回り毎年1回、赤ちゃんに触れ合っ命の大切ななどを学ぶもの）
②子育て支援センター事業（木造、稲垣、車力に所在。在宅で育児する母親に対する相談窓口機能、親子での遊び場と保護者同士の情報交換の場を提供

するもの）
③保育園一時預かり事業（市内4保育園で実施。在宅の幼児を対象とするもの）

今後は経済的支援、子育てしやすい環境整備等、市の少子化対策事業策定のため、市役所を横断するようなプロジェクトチーム等を立ち上げることも考えられます。

問 豊富35号線拡幅整備のその後は。

答 地元町内会からも歩道整備の要望が出されており、危険な状況にあることは承知しております。補助事業で採択されるよう防衛省と協議し要望してきましたがまだ採択に至っており、今後も引き続き要望してまいります。



豊富35号線



平川 豊
五和会

- ・ つがる市民総合体育館建設計画について
- ・ つがるブランドキャラクター「つがるちゃん」の利用について
- ・ 都市計画及び宅地分譲について

問 多様なスポーツ活動で市民の健康増進に貢献し、各種大会、イベント等さまざまな用途に活用できる中核総合体育館を建設できないか。

答 今年度スポーツ審議会に諮問し、スポーツ推進計画を策定中です。体育館の競技スペースに加え、相撲・柔道・剣道などの大会ができるスペース、克雪の屋内運動場を組み合わせた施設整備という内容です。今後この計画についてパブリックコメントを実施し、3月に最終答申がなされる予定です。

問 26年度中に津軽道につながる五所川原西バイパスが完成する。この沿線に立体の「つがるちゃん」を設置し農産物ほか、つがる市のPRをしてはどうか。

答 つがる自動車道の開通により、遠方からの来訪者も増加することが見込まれます。この機会につがる市とブランドのPR効果を高めるとともに歓迎の意味も込め、「つがるちゃん」を利用した看板の設置について検討してまいります。

問 人口増加のための施策として宅地分譲などの事業計画はあるか。

答 ご指摘のように定住促進、人口増の施策にはさまざまなものが考えられますが、建設部としては桜木団地の建て替えにより人口の流出に歯止めをかけるということであり、宅地分譲計画については現在のところ持っていない状況です。

問 つがる自動車道が開通すれば五所川原西バイパス周辺は地理的条件、交通網の充実した住環境となる。人口増、税収増にもつながる宅地分譲計画を持つ考えはないか。

答 桜木団地事業が進行中であり財政面を考慮すると難しいと考えます。ご提案は非常に良い構想であり、今少し検討させていただきたいと思っております。



一般質問要旨 ここが聞きたい

※ 今号より答弁者職名をカットしています ※
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



三上 洋
芳政会

・ つがる市の文化財及び美術工芸品について

問

市の文化財、美術工芸品について次の4点を問う。①保有の絵画、書、工芸品はそれぞれ何点か。②高価な作品の価格は。③セキユリティー・防災状況は。④温度・湿度・防虫等管理体制は。

答

①絵画135点、書72点、彫刻4点、版画128点、それらに類しないもの47点 合計386点です。市指定の文化財は、木造中央公民館講堂等の建造物3件、千代の松等の記念物6件、扁額をはじめ書蹟、古文書等3点、遺跡2件 合計14点です。これら文化財については教育委員会の所管となっております。②価格について調査、鑑定はしておりません。③保有の美術工芸品を一堂に展示する専用施設がないため、各公共施設等で展示・管理しており、施設により警備方法は異なります。④前述の管理状況であり、空調設備等による専門的な管理はできておりません。

問

無形文化財の中には音楽という項目があり、当市にも民謡や市出身の作曲家・声楽家など音楽関係の財産、著名人も多い。国歌、県歌があるように市民歌を持つ自治体もある。つがる市も、子どもたちが成長後、日本の中央や世界で活躍し、疲れた時にふるさとを思い出して口ずさめるような市の歌を作ってはどうか。

答

県内でも青森市、八戸市、黒石市、三沢市、むつ市で市民歌を作っております。また、全国では400以上の自治体が各々の歌を持っているとのこと。合併10周年の事業計画を現在策定中ですので、ひとつの提案として検討していきたいと思えます。



つがる市指定文化財のひとつ『千代の松』

予算特別委員会の審査状況をお伝えします

予算特別委員会では、一般会計や各特別会計の補正予算等を審査します。今議会での質問の主なものは次のとおりです。尚、今号より一般質問同様、答弁者職名を掲載しておりません。



委員長
成田 克子

報告第18号

専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件

(平成25年度つがる市一般会計補正予算(第5号)) ※台風18号被害に対処するための専決予算

問

長谷川 榮子 委員
リンゴの被害は平年と比較しどの位か。

答

大きな被害は柏地区の90ヘクタールで、平年作が1783トン、今回は1500トンとなった。

問

松橋 勝利 委員
被災農業者支援交付金が交付される件数は。

答

268件。内訳は次のとおり。

柏地区	187件
稲垣地区	23件
木造地区	14件
車力地区	44件

議案第96号

平成25年度つがる市一般会計補正予算(第6号)

問

長谷川 榮子 委員
市民診療所送迎用として29人乗りバス2台を購入とのことだが、市民が不自由を感じないよう利用状況の推移を見て対応いただきたい。

答

現在3台保有するバスのうち2台を更新するもの。運行コース、回数はこれまでと変わらない。現状でも100%の乗車率ではないため中型で間に合うという見込みのもとに中型とした。サービス低下のないよう推移を見ながら対応する。

問 佐々木 直光 委員
企業誘致における実質的な市の負担総額は。

答 元気臨時交付金で1億6500万円をまかない、一般財源からは、2400万円を支出の予定。

問 佐々木 直光 委員
保育士等処遇改善臨時特例事業補助金の具体的な内容は。

答 補助金は単年度事業。私立保育園職員の賃金改善に要する費用として交付されるもの。支給方法（月例給引き上げ又は一時金として支給）については、各保育所の実情に応じて保育所で決定できる。

問 佐藤 孝志 委員
教育費雑入に計上の工作物等移転補償金の内容は。

答 冬季、登校に難儀していた瑞穂小学校がある蒔・木造線に防雪柵を設置するにあたり、既存のフェンス、立木の移転が必要であり、これを県が補償するもの。

各委員会の審査状況をお伝えします

付託された議案についての主な質問は次のとおりです。尚、一般質問のページ同様、答弁者職名は掲載しておりません。

教育民生常任委員会



委員長
村上 秀徳

議案第91号

つがる市介護保険条例の一部を改正する条例

（つがる市地域包括支援センターの事業を法人に委託し平成26年度から同センターを廃止するため提案されたもの）

問 白戸 勝茂 委員
同センターの事業は委託先の現人員でカバーできるのか。

答 委託先は社会福祉協議会であり、有資格者も多いことから十分対応可能である。

議案第106号

つがる市公の施設に係る指定管理者の指定の件

管理を行わせる施設の名称
つがる市立養護老人ホーム
ぎんなん荘

指定管理者となる団体の名称
つがる市社会福祉協議会
指定期間
平成26年4月1日から
平成29年3月31日まで

問 伊藤 良二 委員
現在の職員の処遇は。また、給食はどのように考えているか。

答 正規職員は配置換えとなる。非常勤職員についてはできるだけ雇用を継続するよう依頼している。給食は現在の業者に委託を予定している。

議案第92号

つがる市公民館条例の一部を改正する条例

（柏公民館及び富范公民館を廃止するため提案されたもの）

問 村上 秀徳 委員
廃止の理由は。

答 利用人数の減少に加え、市の組織機構の見直しによる。

問 白戸 勝茂 委員
廃止後は全く利用できないのか。

答 公民館としては廃止するが建物そのものは存続するため、放課後児童クラブ等は引き続き利用可能である。



富范公民館

その他
高額療養費過払いについての報告（詳細は9頁参照）

建設常任委員会



委員長
木村 良博

請願

請願第4号

朝日地区側溝改修・整備に関する請願書

請願人 木作町内会



朝日地区現場

改修を求めている側溝は雨水による増水で消防車で排水が必要な状況がこれまで何度あった。不測の事態を避け、住民の安心を確保するために改修、整備を求めているもの。

現地視察により排水改善に最適な方策を見定めるための調査が先決であるとし、慎重審査の結果、採択とした。(側溝の改修については調査後決定)

経済常任委員会



委員長
天坂 昭市

議案第105号

つがる市公の施設に係る指定管理者の指定の件

管理を行わせる施設の名称
木造農産物加工センター

指定管理者となる団体の名称
つがる市シルバー人材センター

指定期間

平成26年4月1日から
平成29年3月31日まで

問 佐々木 敬藏 委員
指定管理費の額は。

答 年額185万円。

問 松橋 勝利 委員
指定管理施設によって

異なる時給単価を統一できないか。

答 賃金額は各委託先が決定する規定となっている。

問 佐々木 慶和 委員

既存の指定管理施設は消費税アップ後、指定管理料の変更契約等をするのか。

答 条例等で税を定めている項目が複数あり、次期議会で改正するよう調整中である。

請願

請願第3号

林集落内の排水路の整備に関する請願書

請願人 林自治会



林集落排水路

整備を求めている排水路(450m)は雨水、水田排水、家庭排水に利用されている。大雨時には住宅敷地まで水が流入する場合もあるが、地域住民の高齢化に伴い、泥上げや除草作業が滞る一方であることから側溝整備を要望しているもの。

現地視察により滞水状態の改善が先決と認められた。慎重審査の結果、排水路の長さや堆積物量から機械による処理が妥当と判断し、要望内容を変更の上、今回に限りという条件で採択とした。

総務常任委員会



委員長
野呂 司

議案第94号

つがる市地域の元氣臨時基金条例

(地域経済の活性化及び雇用の創出を図る事業の財源に充てることを目的とする基金を設置するため提案されたもの)

※平成25年度に国から交付された「地域の元氣臨時交

付金」の残額を基金とするもの)

問 佐藤 孝志 委員
次の2点について問う。

①26年度限りの基金とのことだが、使い切れなかった場合は。

②基金で実施予定の事業は。

答 ①について
他事業への充当は認められないため返還することになる。

②について

・旧県立弘前高等技術専門学校つがる校舎改修

・コミュニティ消防センター建設

・消防自動車購入

・ロータリー除雪車購入

・市道改良工事



改修される旧高等技術専門学校

議案104号

つがる市過疎地域自立促進計画の変更の件

(計画に「再生可能エネルギー活用事業」「過疎地域自立促進特別事業」を加えるため提案されたもの)

問 佐藤 孝志 委員

過疎債を活用し市単独での風力発電利用施設等の建設も可能か。

答 再生可能エネルギーを活用した地域づくりの推進という観点でいえば市が掲げる目的にかなうものであれば可能。

問 齊藤 進 委員

過疎地域自立促進計画書の既存区分に加えるのではなく、再生可能エネルギーについて新たな区分として扱うべきでは。

答 項目追加や表記等を含め市の方針を検討する。



確認・追跡

高額療養費（国民健康保険）の過払い・支給遅れについて

各件の議会への報告・回答は次のとおりです。

●高額療養費の過払いについて～教育民生常任委員会で担当者が報告

過払い金額 8万8136円 19世帯分（平成24年5月から25年7月診療分）

過払いの原因 国民健康保険制度の改正に伴いプログラム改修を委託したコンピューター会社のミスによるもの。

市の対応 各世帯を訪問しお詫びのうえ返還を依頼する。

●高額療養費の支給遅れについて～予算特別委員会で質問

支給遅れの金額 417万7700円 26世帯分（平成25年4月から同年7月診療分）

支給遅れの原因 職員の事務処理の遅れによるもの。

市の対応 12月議会以前に処理され支給も完了している。今後は遅延のないよう一層努力する。

要望活動 レポート

議長並びに基地対策特別委員会 正副委員長が市長とともに要望 活動

平成25年11月19・20日の両日、山本清秋議長と白戸勝茂基地対策特別委員長及び長谷川徹副委員長は、市長とともに東北防衛局、防衛省及び総務省への要望活動を実施しました。今回は、再編交付金に代わる新たな地域振興制度の創設ほかについて要望したものです。



東北防衛局
野中企画部長へ
要望書を手渡す



防衛省
若宮防衛大臣政務官へ
要望書を手渡す

現地視察 レポート

地球村 コテージ

コテージ外観



平成25年12月9日、予算特別委員会終了後、議員団は現地視察を行いました。今回は地域の元気臨時交付金の活用で新設された、つがる地球村コテージを視察したものです。

コテージ内部



■お詫びと訂正

議会だより前号（37号）表紙写真の説明文中に脱字がありましたので訂正してお詫び申し上げます。
津軽4代藩主政公……………正しくは「津軽4代藩主信政公」となります。

常任委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会が視察を行いました。その概要をお知らせいたします。

経済常任委員会

視察先：北海道千歳市・北海道沼田町（7月3日～5日）

【千歳市 研修テーマ「箱根牧場の6次産業化の取り組み」について】

箱根牧場は、東京ドーム20倍の広大な土地で家畜の飼育と有機栽培の農作物の生産を行っております。規格外品を有効活用した南瓜ペースト・カレーフィリングの開発の他、モッツアレラチーズの製造では、後継者をイタリアに研修に出すなど、オンリーワンの商品への拘り^{こだわ}が強く感じられました。安心・安全、地球にやさしい土づくりを実践し、厳選した原料を使つての無添加、無着色製品とオーガニック農産物は、東京、大阪の消費者の高級品ニーズと合致し、ちょっと割高であっても人気があるとのことでした。

社長の説明の中から6次産業化成功のカギをいくつか紹介します。

- ・安心、安全、信頼されるオーガニック農産物を作る。
- ・大量販売では価格をたたかれるため細いパイプをたくさん持つ。
- ・規格外品を有効活用する。（高収入に結びつく）

【沼田町 研修テーマ「雪利用の農業振興策」について】

沼田町は道内でも有数の豪雪地帯であることから、「雪と共生するまちづくり」をめざしており、雪利用を進める町として知られております。平成8年に雪の冷熱エネルギーを活用した、米を貯蔵する世界初の施設「スノークールライスファクトリー」を建設。雪室には、毎年ダンプ500台分の雪を入れております。秋は火力を一切使わずに外気による自然乾燥で米の風味を保ち、夏に向けて貯蔵庫に雪を入れ、米の品質が落ちる夏でも雪の冷氣でしっかり保存しております。沼田町では、雪は大切な資源でありました。雪を利用した特産品では、雪中米、雪中しいたけ、雪中味噌、雪中じゃが、雪中貯蔵酒が人気商品となっております。研修成果を今後の本市の施策に活かして参りたいと思っております。

（成田克子 記）



箱根牧場体験工房を見学



沼田町役場で説明を聞く

建設常任委員会

視察先：富山県南砺市・石川県小松市（6月26日～28日）

【南砺市 研修テーマ「南砺スマートIC」について】

南砺市は、東海北陸自動車道に接続する本線直結型の「南砺スマートIC」を平成26年度末の供用にむけて事業を進めているところです。設置により、一般道の混雑軽減や観光、災害時における土砂崩れ等の際の迂回路、救急医療への支援、高速道路の利便性が向上することで企業の安定的な資材の運搬路として大きく貢献するものであります。また、「南砺スマートIC」は田んぼの真ん中に建設しているため、周囲を工場誘致の敷地としても期待を寄せていました。企業活動を後押しすることで、結果、市政の発展に繋がようと努めていると思われました。

スマートICを建設することで終結とするのではなく、将来を見据えたまちづくりをするために市道等の整備を考えていくべきだと考えました。

【小松市 研修テーマ「定住促進支援制度」・「PFIによる市営川辺町住宅建替事業」について】

小松市では、小松基地があるため騒音に配慮した特有の助成金を設けるなど、多面的かつ多数の奨励金で市民を支援し、定住促進に取り組んでいました。特に空き家に対する助成制度が印象的であり、空き家バンクに登録することで持ち主側に空き家の改修費用を助成するだけでなく、借りの側にも家賃を補助していました。まずは、空き家を作らないという対策であります。今後は、老朽化した空き家に対する支援も必要性かつ財源の確保を検証しながら取り組んでいくとのことであり、参考にしたいと思いました。

市営川辺町住宅は、PFIにより民間業者が住宅を建設することで市の財政負担が軽減されているとともに、5階建ての高層化となったことで生じた余剰地を宅地分譲・開発して活用する等の工夫が見られました。また、小松市では住宅料の収納率が現在99.3%と高く、滞納者に対して非常に厳しく取り組んでいます。滞納をして当たり前ではなく、まずは職員の意識改革から始め、収納率向上に向けた取り組みをしていく必要があると考えます。



南砺市役所にて



市営川辺町住宅前にて

常任委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会が視察を行いました。その概要をお知らせいたします。

教育民生常任委員会

視察先：広島県府中市・広島県大竹市（10月23日～25日）

【府中市 研修テーマ「小中一貫教育プラス5プログラム」について】

今日の学校教育において、個々の才能や夢などを一貫して育てる必要性が高くなってきている。府中市は、平成16年度から4年間で試行期間とし学園の実態に即した一貫教育の在り方を模索した。平成22年3月、これまでの取り組みの経過を整理し、こどもたちの成長にプラスとなる5つの取り組みを学園・保護者に提案した。市内すべての小中学校で学習指導要領に基づき9年間を見通した中で、全てのこどもの可能性を最大限に伸ばす教育を進めた。さらに、小中学校が協力して、教科学習・生徒指導・学校行事等について、達成すべき目標を設定して取り組んでいる。こどもたち一人ひとりの才能を伸ばすためには、大変素晴らしい教育方法だと思う。そのために必要なことは、全教職員が共通理解のもとに、9年間で子どもたちを見守り、育てていく意識を持つことの必要性を感じた。

【大竹市 研修テーマ「市立図書館事業」について】

図書館年鑑2013の「人口3万未満の市区」中、大竹市図書館のランキングは、蔵書冊数、資料費決算額、館外個人貸出数、予約受付件数は毎年常に上位にランクインされている。職員と臨時職員の全員（7人）が司書であり、パソコンを使用できることが任用条件とされている。そのため、専門的な知識を持ち、豊富な経験を蓄積している専門集団として、効率のよい図書館行政を実施している。各コーナーも市民のニーズや声が反映されて配置、整理されている。平日の昼間にも関わらず多くの市民が図書館を利用していた。誰もが気軽に利用し、快適に過ごすことができる親しみのある図書館を提供するための様々な工夫は大変参考になった。



総務常任委員会

視察先：兵庫県小野市・兵庫県加西市（10月23日～25日）

【小野市 研修テーマ「行政経営」について】

小野市は4期目を迎えた民間出身の現市長就任以来、「行政も経営である」と捉え、「より高度で、より高品質なサービスを、いかに低コストで提供するか」を追求している。まさに「ゼロベースの発想でチャレンジ」という一貫した理念のもと、市民を顧客と捉えた「顧客満足度志向」、何をやっているかではなく何をなしたかを問う「成果主義」、ここしかないものを追求する「オンリーワン」、言われてからやるのではなく言われる前にやる「後手から先手管理への転換」という4つの柱を掲げ、固定観念にとらわれず創造的で具体的な目標を設定することで、大胆な行財政改革を行い経費削減等に努めるとしている。併せて、市民の声を多様な形で聞く場を設け市政への反映、また市民サービスの向上を進めていた。このような理念と指針の成果を出すためには「組織を動かす仕組み・システムづくり」「職員の意識改革」「人材育成」が必要であると感じ、当市の行財政改革においても参考とすべきところがおおいにあった。

【加西市 研修テーマ「人口増に向けた取り組み」について】

ここ数年の人口減少傾向が加速している状況を憂慮し、「人口5万人都市の再生」というスローガンを掲げ、人口増に特化した企画や施策を進める「人口増政策課」を設置し、重点的に取り組んでいた。例えば特定不妊治療費助成、中学3年までの医療費無料や若者世帯持家補助など。またそのPR活動も積極的に行っており、市民には住み続けてもらい、市外の人には加西市を定住先を選んでもらおうとさまざまな施策を行っていた。それぞれの自治体で地理的条件・構造的違いにより人口の減少する要因は異なるが、当市においてもその問題・課題について分析し、状況を正確に把握することで、共通に理解し、その対策・対応に取り組んでいくことが非常に重要であると考えた。



これまでの議会の活動の一部を紹介します（議長・副議長・議員団）

11月6日	つがる市表彰式
13日	大分県豊後高田市議会視察来庁
14日	青森県市議会議長会定期総会（平川市）
19日	東北防衛局陳情(仙台)
20日	防衛省・総務省陳情（東京）
26日	議会改革検討特別委員会
28日	議会運営委員会
12月2日	平成25年第4回つがる市議会定例会開会
5日	定例会一般質問〔6日まで〕
9日	予算特別委員会〔10日まで〕・地球村コテージ視察
11日	教育民生常任委員会・建設常任委員会
13日	経済常任委員会・総務常任委員会
17日	平成25年第4回つがる市議会定例会閉会
1月6日	つがる市新年祝賀会
22日	津軽自動車道及び農業政策要望活動（東京）

行政視察来庁 大分県豊後高田市議会

◆視察テーマ

「つがるブランドの取り組み」について

平成25年11月13日、豊後高田市議会産業建設委員会一行7名が、行政視察のために当市を訪れました。地域振興対策室からの説明後、柏地区の農産物直売所とつがるちゃんプラザを視察しました。



つがるちゃんプラザでブランド認定商品をチェック

クールつがる No.1 「木造夕市の会」

第1回目は地産地消の草分け的存在、木造夕市の会を紹介します。

代 表 八木橋リウ子

会 員 数 19名

◆主な活動

- ・青空市の開催（新鮮で安全な旬の野菜等とその加工品を販売）

※6月～10月 毎週木曜日

- ・つがる市くらしの工夫展コンテストへの出品及び出店

- ・市の各種イベントに商品販売で参加

とれたて野菜の真のおいしさを伝えたいとの思いから始めた青空市は、足かけ25年になります。長く続けてこられたのは会員の創意工夫の努力と、とれたてのおいしさを実感して下さっている消費者の皆様のおかげです。これからも旬の味を届けていきたいと思ひます。

◆議会に望むもの

安全でおいしい農産物や自然の豊かさなど、つがる市の良さを市と一緒に今以上に市内外にアピールしてほしいと思ひます。



議会を傍聴しましょう

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。
（庁舎3階議会傍聴者入口で、傍聴券に住所、氏名、年齢をご記入ください。）

《次回定例会予定》

3月

編集後記

皆さんは議会だよりが毎回、多少ではありますが変化していることにお気づきでしょうか。
「開かれた議会」をめざし、議会側からの情報発信として1年に4回発行しています。

議員は議会を何をしているのか？議員は普段どのような仕事をしているのか？市民の安全・安心な生活を少しでも手助けできるように、行政側と議会側が議論し、住みよいまちづくりをしているのか？を知るコミュニケーションツールのひとつでもあります。読者である皆さんにとって読みやすく、次も読みたいと思っただけの議会だよりを作ること、少しでも住民参加型の「開かれた議会」に近づく気がします。今後、分かりやすい議会広報となるよう、市民目線で改良を重ねながら、よりよい議会だよりを発行してまいります。

（長谷川 記）

市議会だより編集委員会
委員長 野呂 司
副委員長 佐々木 直光
委員 佐々木 良博
委員 木村 徹
委員 長谷川 忍
委員 小笠原 秀徳
委員 村上 慶和
委員 佐々木 幸洋
委員 平川 豊
委員 齊藤 良二
委員 伊藤 良二